

Title	圖録繪卷物小釋, 松岡映丘著
Sub Title	
Author	幸田, 成友(Koda, Shigetomo)
Publisher	三田史学会
Publication year	1927
Jtitle	史学 Vol.6, No.1 (1927. 3) ,p.147- 147
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	書評
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19270300-0147

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

流布本は少いと信ずる。

尊經閣本の色葉字類抄は「可なり實用に供せられたと見え、紙面にはなか／＼手擦や汚損が多い」とあるが、文字を見ると、實に優麗で、たしかに原本の著作と同時代かそれでもなくとも決して遠く隔たらぬ時代の書寫と見え、希世の珍であるが、惜しむらくは完本でない、中巻を缺くのみか、下巻に於ても一部の闕佚がある。従つて賞翫愛撫の點に於ては之で充分であるが、實用に供する場合には不足である。尊經閣には本書の永祿寫本を藏せられて居ると聞けば、本書の不足分を永祿本によつて補はれたなら、書物を愛する者にも讀む者にも雙方に便宜であらうと、望蜀の念を書添へる次第です。(幸田成友)

圖録繪卷物小釋

松岡映丘著

鎌倉時代を中心として、その前後に行はれた繪卷物は、自分等の立場からいつても、大いに尊重に値するものと思ふ。大和繪といふその名が示す通り、畫題を日本にとり、畫面にあらはれる裝飾や調度が、すべて製作當時のものであるからである。是等繪卷物の名稱や筆者や所藏者を録したのものには、古く

本朝畫圖品目

源嵩年輯

天保四年刊

がある。之は大坂の惣年寄野里梅園が出版した小冊子で希本である。それから住吉家て出した倭にしきといふ一枚摺も多少參考になるが、一枚摺では明治十七年に出版された

大倭畫名卷鏡

柏木貨一郎著

が頗る賞揚すべきものと思ふ。柏木氏は名高い好事家で、所藏も多かつた。それから博物館で出版した黒川眞頼博士の考古畫譜のことは、周知であるから略す。

松岡氏の著は現在に於ける繪卷物の目錄として、以上の諸書と共に座右に備ふべき良書である。たゞし自分等の希望をいへば、解釋をもつと承はりたく、又挿畫があまりに小さいのを遺憾とする。尤も是等は出版書林が代價を廉くするために起つたことであらうが、之を第一として自分等は松岡氏の第二、第三の著述に接したい。(幸田成友)

新撰洋學年表

大槻如電著

大槻如電先生の「新撰洋學年表」が出版になつたことを、先生のために又學界のために慶賀したい。本書の前版は日本洋學年表と題し、明治十年十一月の出版で、今から四十五年前である。美濃判大の活版本で本文二十三枚、之に例言・序論・題文・正誤各一枚を添へ、紙數合計二十六枚、黄色の表紙をつけて和製本である。今回出版の新撰洋學年表は之と比べると、著しい相違を見る。裝訂は黄表紙が冊表紙にかはつた位であるが、内容は例言一頁・索引十五頁・本文百五十八頁よりなり、例言索引は活版であるが、本文は全部著者の自筆稿本をそのまま金屬版としたもの故、蠅頭の文字ではあるが、先生の筆癖が能く窺はれる。

新舊の兩版を比較して自分等は先生の根氣強きに驚歎し、且これにあやかりたいと思ふ。初版は内國勸業博覽會に出品するため、